

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3	1	よりよい環境を常に検討していく。メンバーにより分かれて過ごしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1	0	適切である。重心児利用の際の看護師等配置は出来たが、重心児利用が増えた場合配置の課題あり。(その時対応する)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	1	生活での基本的経験値を養う上で特に配慮はしておりませんがバギー使用時の段差の解消はしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	0	0	適切である。今年度法人ぐるみで導入された。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	0	0	適切である。駐車場からの砂利道については、デイ建物前で野乗車についてご案内した。ただ支援時間の延長については、課題を残しているが検討はした。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	1	ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	5	外部評価はしていない。改善し、実施していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	0	適切である。出張も必ず一人1は実施。月1回勉強会を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1	0	適切である。後期から保護者との面談時間を取った。理学療法士や看護師からもアドバイスをもらっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	3	1	よりよい形を常に検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1	0	適切である。今年度は月別担当制にした。面白い企画も多く入れる事が出来た。職員で知恵を入れあった。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	0	適切である。毎週プログラムを変えている。生け花おやつ作り買い物支援等取り組んだ。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	1	0	適切である。その人に応じて同じパターンが落ち着く人、色々な体験が好ましい人に分けて支援した。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1	0	適切である。個々のニーズに合わせて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1	0	適切である。毎日の朝礼、月3回の個別支援会議、月1回のグループ会議で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	0	適切である。翌朝の朝礼で振り返っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	2	0	適切である。日誌や記録は毎日個人ファイルに記載(打ち込み)している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	適切である。利用時に個別支援をする中で見直し出来ている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8	2	0	適切である。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2	0	適切である。担当が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	2	0	適切である。必要に応じて学校の先生への確認、送迎時に学校での様子も聞くようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	3	健康面の情報は保護者よりお預かりしています。一部利用者は保護者同席の為、特に主治医との連絡体制は整えておりませんが嘱託医との連絡体制は整えられている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6	1	円滑に情報共有を行えるよう改善していく。必要があれば情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	4	1	保護者の同意を得て、依頼に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5	0	実施している。何かあれば必ず報告や相談をしている。助言も受けている。施設内に相談支援事業所があるので外部との連携が今後、より必要。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	7	今年度他地域の学童クラブへパンフレットを持参した。子供たちとの交流は実施困難である。保護者アンケートでも賛否がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	4	参加していない。機会あれば参加したい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	適切である。電話や送迎時又今年度はアセスメントの情報収集の時に伝えあっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	4	事業所内で職員研修は行っているが、保護者の方々には行えていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	0	実施している。手紙を配布した。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1	0	実施している。相談があれば載らせてもらっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	6	実施していない。保護者の中に賛否がありしていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2	0	適切である。謝罪を基本に出来るだけ迅速に行うようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	0	実施している。メール、杜からのお知らせ、ナースコール等で知らせている。
	35	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	適切である。毎年同意書をもっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	1	適切である。出来る限りわかりやすく工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	0	実施している。平成30年度は施設の大規模修繕があり、あおば祭りは中止だったが、平成31年度は実施予定。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2	0
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	実施している。ヘルメット、防災ずきん等完備している。毎年一人2回は参加している。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	2	職員会などで実施している。職員1名が虐待防止委員会に入っている。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	4	4	該当児がいない為、実施していない。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	7	2	リスク管理は行っているが、保護者、医療機関との連携をより密に行っていく。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	2	0	実施している。本体に準じている。

